

見積参考資料

委託業務名 R1波土 善蔵川他 海・大里他 排水
機場点検整備業務

注意

◎「見積参考資料」は入札参加者の迅速で適正な工事費の見積りのための一資料であり、請負契約を拘束するものではない。

◎当資料内において「平成31年5月」以降で表記するものは、新元号（令和）の当該月に読み替えるものとする。

見積単価一覧表

業務名	R1波土 善蔵川他 海・大里他 排水機場点検整備業務			
名称	規格	単位	単価	備考
【海部川排水機場】(発電機)	機種名YAP200G-6R			
潤滑油フィルターパッキンセット		式	2,140	
燃料フィルターパッキンセット		式	2,140	
燃料ノズルパッキンセット		式	9,570	
側蓋パッキン		枚	4,740	
サーモスタットパッキンセット		式	4,790	
潤滑油フィルター		個	4,750	
燃料フィルター		個	9,090	
圧力計		個	24,400	
フロートスイッチ		個	14,500	
消化器	粉末ABC10型	個	10,500	

見積単価一覧表

業務名	R1波土 善蔵川他 海・大里他 排水機場点検整備業務			
名称	規格	単位	単価	備考
【善蔵川排水機場】(エンジン)	機種名M3SP-AF			
ソクフタパッキン		個	22,700	
ガスケット22-2		個	906	
マルパッキン10		個	107	
ミニYパッキン	MYN-24	個	6,330	
ワリピン	(0)2×20	個	39	
パネ#5		個	2,390	
ベンパッキン		個	5,030	
パネ#1	2.3×9.8×13.5	個	4,090	
パネ#2		個	3,370	
ベン		個	15,700	
Oリング	(0)15.6×2.3	個	185	
ベンザ		個	17,700	
マルパッキン	(0)25	個	151	
マルパッキン	(0)14	個	87	
パッキン(締付ナット)		個	3,550	
エレメントパッキン		個	4,000	
パッキン(ロキケース)		個	5,630	
パッキン(ケース)		個	1,050	
逆止弁(始動用空気槽)		個	77,400	
逆流防止弁(空気圧縮)		個	107,000	
潤滑油(主原動機)		L	865	
カートリッジASSY		個	28,500	
処分費潤滑油		式	106,000	

点検工数（海部川排水機場）

表-20・32 標準点検工数（年点検）

区 分	Y：標準点検工数（時間/2台分）
	年 点 検
立軸ポンプ	$Y=971.16x^{0.07416}-830$
横軸ポンプ	$Y=39.29x^{0.0002}+120$

- （注）1. 年点検の内容は、設備を外部からの目視による点検及び分解を伴う内部の目視点検の他、点検用器具（ノギス、テストハンマー、メガータスタ、マイクロメーター、ジックネスゲージ、塗膜厚計、振動計等）を用いた計測、潤滑油分析用サンプルの採取及び簡易な給油脂、機器の単独運転、総合操作の機能確認及び調整を行うことを標準とする。
2. Yは標準点検工数、xはポンプ1台当りの計画吐出量（ m^3/s ）である。
3. 標準点検工数は、主ポンプ設備が2台の場合とする。
なお、台数による修正係数は、表-20・37のとおりとする。
4. 標準点検工数は、主原動機がディーゼルエンジン駆動とする。
5. 標準点検工数は、点検整備工による点検とする。

※徳島県県土整備部：令和元年度土木工事標準積算基準書 p. IX-20-29～

「表-20・32 標準点検工数（年点検）」を参照

立軸ポンプ（オープンピット）標準点検工数

$$\begin{aligned}
 Y &= 971.16 \times x^{0.07416} - 830 \quad \text{ここに、} X : 1\text{台当り計画吐出量（}m^3/s\text{）} \\
 &= 971.16 \times 0.5^{0.07416} - 830 \quad \therefore \text{海部川 } 30\text{ }m^3/\text{min} = 0.5\text{ }m^3/s \\
 &= 92.5 \quad \text{（時間/2台）}
 \end{aligned}$$

$$\Rightarrow \text{点検工数} = 92.5 / 8 \text{（時間/日）} \approx 12.0 \text{（人）}$$

直接労務費（海部川排水機場）

点検整備費

種 別	単 位	ポンプ2台（海部川）	
		点検整備工	普通作業員
点検工数	日	12.0	-
労務単価	円/日	21,800	18,300
小 計	円	261,600	-
合 計	円	261,600	

点検工数（善蔵川排水機場）

表-20・32 標準点検工数（年点検）

区 分	Y：標準点検工数（時間/2台分）
	年 点 検
立軸ポンプ	$Y=971.16x^{0.6003}-930$
横軸ポンプ	$Y=39.29x^{0.6003}+120$

- (注) 1. 年点検の内容は、設備を外部からの目視による点検及び分解を伴う内部の目視点検の他、点検用器具（ノギス、テストハンマー、メガアスタ、マイクロメーター、ジックネスゲージ、塗膜厚計、振動計等）を用いた計測、潤滑油分析用サンプルの採取及び簡易な給油脂、機器の単独運転、総合操作の機能確認及び調整を行うことを標準とする。
2. Yは標準点検工数、xはポンプ1台当りの計画吐出量（ m^3/s ）である。
3. 標準点検工数は、主ポンプ設備が2台の場合とする。
なお、台数による修正係数は、表-20・37のとおりとする。
4. 標準点検工数は、主原動機がディーゼルエンジン駆動とする。
5. 標準点検工数は、点検整備工による点検とする。

※徳島県県土整備部：令和元年度土木工事標準積算基準書 p. IX-20-29～

「表-20・32 標準点検工数（年点検）」を参照

横軸ポンプ標準点検工数

$$\begin{aligned}
 Y &= 39.29 \times x^{0.6003} + 120 \quad \text{ここに、} X : 1\text{台当り計画吐出量 (} m^3/s \text{)} \\
 &= 39.29 \times 2.5^{0.6003} + 120 \quad \therefore \text{善蔵川 } 2.5 \text{ } m^3/s \\
 &= 188.1 \quad (\text{時間}/2\text{台})
 \end{aligned}$$

$$\Rightarrow \text{点検工数} = 188.1 / 8 \text{ (時間/日)} \approx 24.0 \text{ (人)}$$

直接労務費（善蔵川排水機場）

点検整備費

種 別	単 位	ポンプ2台（善蔵川）	
		点検整備工	普通作業員
点検工数	日	24.0	-
労務単価	円/日	21,800	18,300
小 計	円	523,200	-
合 計	円	523,200	